

町民の「目」で育てる環境マネジメントシステム“うちエコ”（愛媛県内子町）

取組概要

内子町は、平成29年度から独自の環境マネジメントシステム“うちエコ”の運用を開始し、町における環境施策の推進を図っている。本システムは町民参加のもとで運用することを基本としており、これにより、町民目線で施策のチェック・進行管理を行うとともに、町民から家庭へ、そして地域へと環境配慮の取り組みを展開し、行政と住民が一体となって「キラリと光るエコロジータウン内子」の実現を目指す。

取組の効果

○町民参加を前提とした環境マネジメントシステムを構築・運用することにより、町の環境施策全体について、町民目線のチェックを取り入れることができる。また参加した町民自身の認識の向上や、エコロジータウン内子を目指すまちづくりへの参画促進につながる。

○子どものエコ見回りでは、普段からの電気や水道のチェック、資源ごみの分別などを通して環境意識を育むとともに、家庭や友達への波及も期待できる。見回りを受ける側にとっても襟を正す機会となり、環境配慮を促す好機となっている。

○大人のエコ見回りへの参加者が次期監査チームのメンバーになるなど、取り組みが継続・発展している。

創意・工夫した点

○政策監査・エコ見回り・事業所監査の3つの監査を設け、身近なところで行える「エコ見回り」については、監査チームとは別に参加者を募集し、「大人のエコ見回り」「子どものエコ見回り」を実施。子どものエコ見回りは保育園児や小学生が、普段から園や学校内で電気・水道のチェック、資源ごみの分別などに取り組んだ上で、施設や店舗を訪ねて見回りを行っており、さまざまな立場でより多くの町民が関わっていけるように工夫している。

○監査チームには、町の新採職員全員が研修生として参加し、環境施策の全体像を把握し、それぞれの部署でマネジメントの推進や自らの行動に反映している。

人口 16,349人 (R2.1.1現在)

担当 環境政策室



政策監査の様子



子どものエコ見回り隊